

「障がい者の経済的自立を実現する」

一、障がい者の現場作業参加スタート



創業 9 か月で障がい者 2 名の現場作業参加を実現することができました。ご支援・ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

今回は、生垣・花壇の剪定除草作業から出る剪定くずの収集を担当してもらいました（感想）・知的障害、精神遅滞の A 君「楽しかったです。また来たいです。」

・自閉症、ADHD の B 君は黙ったままですが頷いていました。

※ 現場は福岡倉庫株式会社様

① 障がい者の経済的自立を実現するには発想の転換が必要

これまで

これから

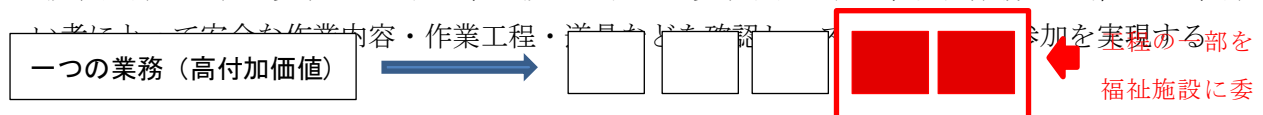
企業からの業務委託は簡易な案件の丸投げ ⇒ 高付加価値業務を工程分解しプロジェクト参加形式の委託

障がい者参加を前提としない業務プロセス構築 ⇒ 障がい者の特徴を前提とした業務プロセスの構築

障がい者は支援の対象でコスト増大 ⇒ 障がい者参加は多様性の象徴で社会的価値の増大

② kanzeon の対策（業務内容：エアコン分解洗浄、定期清掃、美装、除草剪定など）

- ・ 業務工程を分解した一部をプロと一緒に現場に入る「プロジェクト参加方式」による受注を行う
- ・ 施設利用障がい者が現場に入る前に、施設スタッフの現場研修を行い、委託業務の理解を深め、障がい者としての中核的作業内容・作業工程・学習目標を明確に



③ 主な取引実績 ※敬称略

パティスリーイチリュウ、福岡倉庫株式会社、西日本新聞社、株式会社九電工、西鉄車体技術株式会社、堀内電気株式会社、株式会社関屋電設、株式会社友進電設興業、株式会社三和興業、株式会社清進工業、株式会社 CREST、岩本工業株式会社、中村英数学園、フチガミ医療福祉専門学校、株式会社美咲、稲員興産株式会社、